

# JALUX



## 第 41 期 事業報告書

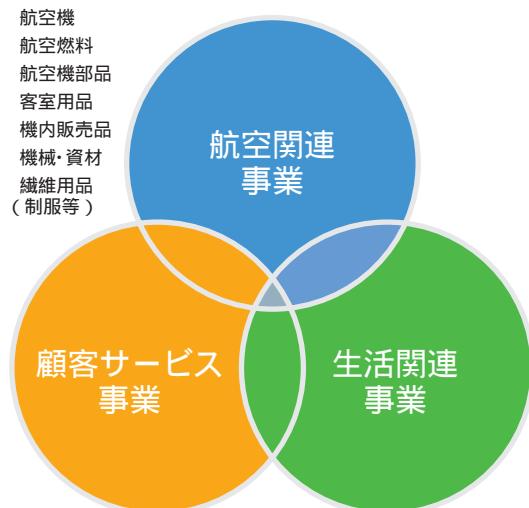
2001年4月1日～2002年3月31日

株式会社 JALUX

# JALUX is ...

## CONTENTS

- JALUX is... 2,3
- トップメッセージ・財務ハイライト 4,5
- JALUX グループの事業領域 6,7
- 連結財務諸表 8,9
- 単体財務諸表 10
- 会社概要・株主メモ 11
- 株主優待・ホームページのご案内 12



航空機  
航空燃料  
航空機部品  
客室用品  
機内販売品  
機械・資材  
繊維用品  
(制服等)

「BLUE SKY」(空港店舗)  
「JAL/DFSデューティーフリー  
ショップ」(空港免税店)  
ライフデザイン  
(保険、不動産、シニアビジネス)  
印刷メディア  
施設管理

雑貨・宝飾  
農水産物  
加工食品  
ワイン・洋酒  
(カタログ販売、e-コマース)

## 航空分野のエキスパートとして

### 独自のノウハウの蓄積・展開

JALUXは1962年の創立以来、JALグループの流通・サービス事業の中心において、航空関連事業を基盤に成長を続けてまいりました。

2000年には、新たに、JALの航空機や航空燃料の調達業務を包括受託するなど、航空分野における領域を拡大し、その調達機能の中核を担う企業へと発展しています。

また、培った独自のノウハウを活かし、JALグループのみならず、国内外の航空関連企業へとビジネスを展開し、強固な収益基盤を構築してまいりました。

## 生活提案企業としての飛躍

### 「JALブランドを具現化するCREATOR」

その安定基盤のもと、JALUXは「JALブランドを具現化するCREATOR」として、生活関連事業・顧客サービス事業の拡充を推進しています。

JALブランドは、日本航空が50年にわたり育んできた、グローバルエアラインとしてのブランドであり、ハイクオリティ、ハイセンス...などのイメージを有しています。

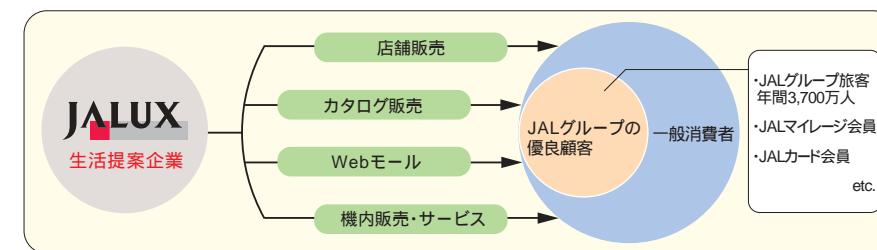
JALUXは、このブランドバリューを日常生活の中でも身近にふれて感じていただきたい...というコンセプトのもと、たとえば、キャビンアテンダントのアイデアを集めたオリジナル商品や、機内食をベースにした家庭向けの食品「デスカイシリーズ」などを開発してまいりました。

### 優良顧客基盤と多彩なダイレクトチャネル

そして、これら付加価値のあるオリジナル商品や、そのブランドバリューを活かしたサービスを、JALグループの優良顧客基盤をコアとする一般消費者に、店舗、カタログ、Webモール、機内販売・サービスなどの、ダイレクトチャネルを通じて提供しています。

### 「幸せづくりのパートナー JALUX」

JALUXのLUXは「光・輝き」を意味します。社会へ輝きある心豊かな生活を提案してまいりたい...という思いを込め、「幸せづくりのパートナー」を企業理念としています。この理念のもと、一般消費者をターゲットとするビジネス、すなわち「生活提案事業」を重点成長分野と位置付け、更なる発展を目指してまいります。



# トップメッセージ



## JALUX「第二創業期」を迎えて。

代表取締役社長 横山善太

皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
私は、2001年6月よりJALUXの経営の一翼を担ってまいりまして、  
2002年4月に社長に就任いたしました。

JALUXは、社会から厚い信頼を得られる、より身近な「生活提案企業」  
として、一層の飛躍を期すべく、2002年2月に東証2部上場を果たし  
ました。

そして、上場企業としてはじめての決算報告を申し上げる次第でござ  
います。創立40周年の節目に、このようなかたちで「第二創業期」  
を迎えられたことは、ひとえに皆様のご支援の賜物と、深く感謝いたし  
ております。

### 当期の概況

2002年3月期は、いわゆるIT不況や、未曾有のテロ事件の発生など...、  
厳しい状況が続いてまいりました。航空マーケットや航空旅客を主要ター  
ゲットとするJALUXにとっては、特に厳しい環境下の1年でございま  
した。しかしながら、変化する顧客動向に対応したマーケティングや、  
好調を維持した国内線マーケットへの積極的な対応などにより、連結

売上高は前期と同水準を維持し、売上総利益は同103%の増益とな  
りました。一方で、社名変更や上場に伴う特殊費用などもあり、経常  
利益は同91%、当期純利益は同72%となりました。

以下、セグメント別の営業成果を、売上総利益の増減でご説明いたし  
ます。

**航空関連の売上総利益は、前期比103%、6,900万円の増益**  
旅客数の減少により、航空客室用品などの需要は一時的に低下いた  
しましたが、航空マーケットにおける部品や中古航空機の需要は堅  
調で、増益となりました。

**生活関連の売上総利益は、前期比101%、6,700万円の増益**  
一般市場の消費低迷により、ワインや宝飾品の需要は低下いたしま  
したが、独自のチャンネルで付加価値を提供するカタログ通販やWeb  
モールではオリジナル商品が好調に推移し、増益となりました。

**顧客サービスの売上総利益は、前期比103%、3億1,600万円の増益**  
旅客数の減少にもかかわらず、「JAL/DFSデューティーフリーショッ  
パーズ(国際線免税店)」や「BLUE SKY(空港一般店舗)」は、マー  
ケティングの奏効により、増益となりました。

### 来期の見通し

2003年3月期においては、サッカーワールドカップ開催などを視野  
に入れた、空港基盤の整備により、航空旅客輸送の供給拡大が見込ま  
れます。また、それらとあいまって、2002年3月期に減少した、国際  
旅客需要の回復も見込まれ、2001年3月期並みの水準に回復するこ  
とを予想しております。

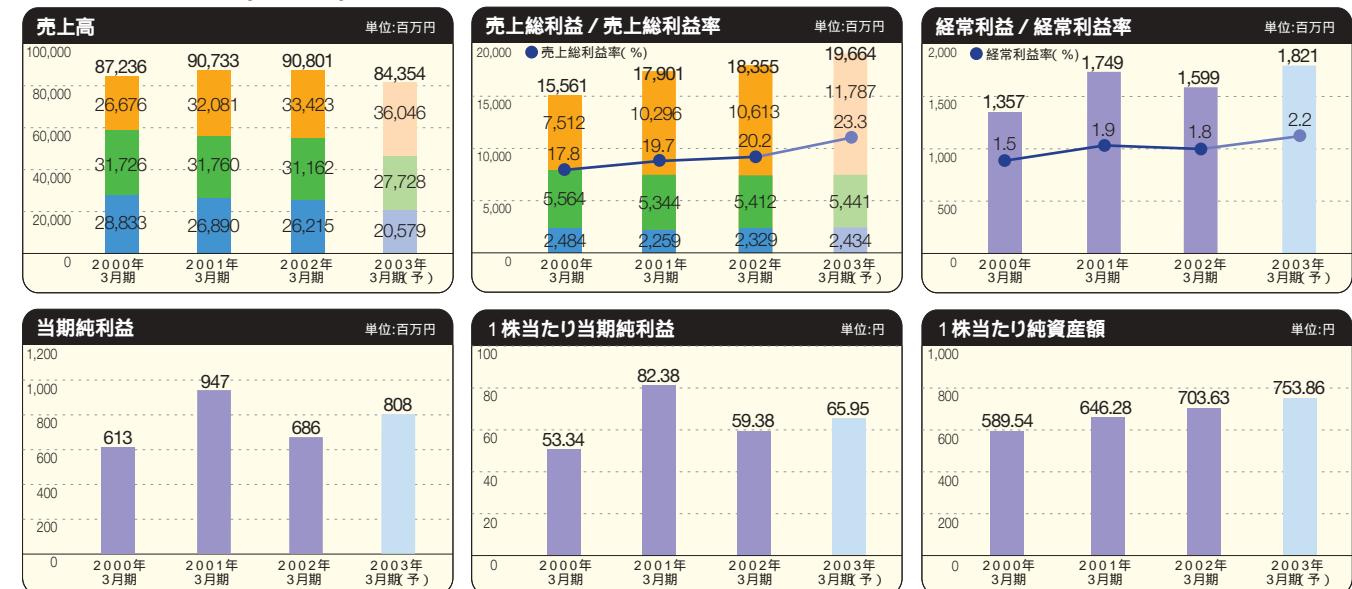
これにより、航空マーケットや旅客をターゲットとする、航空関連事業や、  
空港店舗を中心とする顧客サービス事業の増益(売上総利益)が見込  
まれます。

さらに、2002年3月期に好調であったWebやカタログによる通信販

売などの、成長分野へ経営資源を投入し、商品開発力とマーケティング  
力を強化することにより、生活関連事業の増益も見込まれます。  
JALとの取引の一部における、売買方式から業務受託方式への収入  
計上基準の変更により、売上高は前期比93%となりますが、実質的な  
営業成果となる売上総利益は同107%、経常利益は同114%、当期  
純利益は118%と、利益面においては増益を見込んでおります。

これからも、経営資源の戦略的な活用により、企業価値の最大化を目  
指し、「Challenge & Change - Yes, we can」の精神で、皆様  
のご負担にこたえるべく努力してまいります。引き続き、一層のご理解  
とご支援を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

### 財務ハイライト(連結)



# JALUXグループの事業領域

国内景気の低迷が長期化する現在、各企業には、従来以上に斬新なビジョンやビジネスの仕組みが求められています。そうしたなかで、JALUXグループは、どのような戦略を通じて、収益力の向上をはかり、企業価値の極大化を目指すのか？今回は、JALUXグループの独自のドメインと販売チャネルについてご紹介させていただきます。



JALUXグループの生活提案事業の特徴の一つは、JALグループ顧客をコアとする旅客の流れの中において「連続的かつ多様な販売チャネル」を有していることにあります。

旅行出発前のお客様には、まず、JALのホームページや、それとリンクする「JALUX Web」を通じて、保険やおみやげ、留守宅管理などのサービスをご提供します。

出発空港・到着地においては、「BLUE SKY」などの店舗を通じ、おみやげ・免税品の販売や、飲食などのユーティリティ・サービスをご提供します。

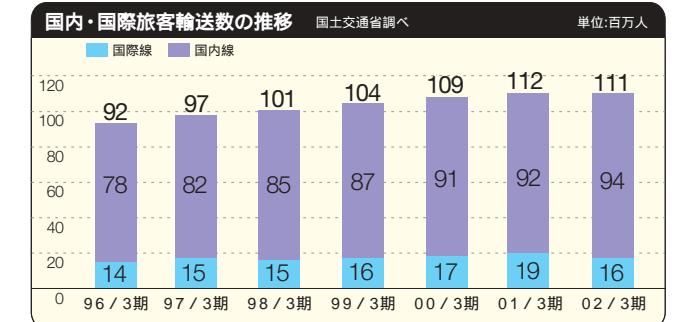
旅客機内では「JAL SHOP」などのカタログを通じた機内販売・通信販売、さらに、サービス用の食事やワインなどをご提供します。

こうした旅行のシーンで、JALUXのオリジナル商品やサービスに触れたお客様を、「日常生活」における「JAL World Shopping Club（カタログ通販）」や「JALUX Shopping（Webモール）」へのアクセスにつなげてまいります。

そして、Webにおいて「ロングステイ（長期滞在型旅行）」を含むライフデザインサービスなどのご提案により、再び需要を喚起してまいります。つまり、このようなサイクルを通じて、JALUXの潜在的優良顧客と言える航空旅客層に対して、効率的かつ連続的なアプローチをはかり、優良顧客を着実に増やし、また、リフレッシュしていくことが可能となるのです。

「潜在的優良顧客である航空旅客」の動向に目を向けますと、国内・国際旅客輸送数は、2001年3月期以前の過去5年間では年率4%平均で伸びています。2002年3月期はテロの影響という特殊要因があっ

たものの、空港などのインフラ整備に伴う利便性の高まりとともに、今後、国際線を中心に、長期的な伸びが見込まれています。また、コアとなるJALグループ優良顧客層は、所得と購買力に富む、ゆとりある層やシニア層を、高いシェアで包含し、その顧客基盤も順調に拡大しています。



こうした状況が JALUXグループの生活提案事業において、そして航空関連事業においても、追い風になることは間違いありません。そして、JALUXはこのような環境のもとで、販売チャネルやブランド力のアドバンテージを、より一層活かすべく、「CREATOR」としての機能、すなわち、商品開発力やマーケティング力を強化し、新たな価値を創出できる「生活提案企業」を追求してまいります。

# 連結財務諸表(要旨) 単位:百万円、単位未満切り捨て

## 連結貸借対照表

科目	期別 前期 (第40期) 2001年3月31日現在	当期 (第41期) 2002年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	21,540	21,603
現金及び預金	3,175	4,133
受取手形及び売掛金	10,958	10,109
たな卸資産	5,455	5,575
その他流動資産	1,769	1,545
繰延税金資産	224	263
貸倒引当金	43	23
固定資産	10,483	10,368
有形固定資産	3,727	3,871
無形固定資産	360	433
投資その他の資産	6,395	6,063
投資有価証券	2,016	2,048
その他の投資	4,585	4,205
貸倒引当金	206	190
繰延資産	0	0
社債発行差金	0	0
<b>資産合計</b>	<b>32,024</b>	<b>31,972</b>

科目	期別 前期 (第40期) 2001年3月31日現在	当期 (第41期) 2002年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	19,675	17,772
支払手形及び買掛金	11,631	10,944
短期借入金	4,492	2,623
未払費用	-	1,850
その他	3,551	2,353
固定負債	4,518	5,116
社債	350	350
長期借入金	3,560	4,164
役員退職慰労引当金	125	156
その他	482	445
<b>負債合計</b>	<b>24,193</b>	<b>22,888</b>
<b>少数株主持分</b>		
少数株主持分	398	465
<b>資本の部</b>		
資本金	2,398	2,558
資本準備金	398	661
連結剰余金	4,792	5,309
<small>その他有価証券評価差額金</small>	13	3
<small>為替換算調整勘定</small>	170	86
自己株式	-	0
<b>資本合計</b>	<b>7,432</b>	<b>8,618</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>32,024</b>	<b>31,972</b>

## 連結損益計算書

科目	期別 前期 (第40期) 自2000年4月1日 至2001年3月31日	当期 (第41期) 自2001年4月1日 至2002年3月31日
売上高	90,733	90,801
売上原価	72,832	72,445
売上総利益	17,901	18,355
販売費及び一般管理費	16,292	16,960
営業利益	1,608	1,394
営業外収益	316	333
営業外費用	175	129
経常利益	1,749	1,599
特別利益	232	27
特別損失	134	94
税金等調整前当期純利益	1,847	1,532
法人税、住民税及び事業税	847	878
法人税等調整額	27	124
少数株主利益	80	90
<b>当期純利益</b>	<b>947</b>	<b>686</b>

## 連結剰余金計算書

科目	期別 前期 (第40期) 自2000年4月1日 至2001年3月31日	当期 (第41期) 自2001年4月1日 至2002年3月31日
連結剰余金期首残高		
連結剰余金期首残高	3,983	4,792
合計	3,983	4,792
連結剰余金減少高		
配当金	138	161
役員賞与	-	8
合計	138	169
当期純利益	947	686
連結剰余金期末残高	4,792	5,309

## 連結キャッシュ・フロー計算書

科目	期別 前期 (第40期) 自2000年4月1日 至2001年3月31日	当期 (第41期) 自2001年4月1日 至2002年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,258	2,345
投資活動によるキャッシュ・フロー	120	209
財務活動によるキャッシュ・フロー	233	1,196
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	55
現金及び現金同等物の増加額	913	995
現金及び現金同等物の期首残高	2,059	2,972
現金及び現金同等物の期末残高	2,972	3,967

# 単体財務諸表(要旨) 単位:百万円、単位未満切り捨て

## 貸借対照表

科目	期別	前期 (第40期) 2001年3月31日現在	当期 (第41期) 2002年3月31日現在
	<b>資産の部</b>		
流動資産		19,323	19,642
現金及び預金		2,023	3,278
受取手形及び売掛金		10,636	9,741
たな卸資産		4,779	4,929
繰延税金資産		154	175
その他		1,770	1,542
貸倒引当金		43	23
固定資産		7,531	7,149
有形固定資産		1,106	1,073
無形固定資産		349	395
投資その他の資産		6,075	5,680
関係会社株式		1,936	1,916
長期差入保証金		2,072	1,717
その他		2,223	2,178
貸倒引当金		156	132
繰延資産		0	0
社債発行差金		0	0
<b>資産合計</b>		<b>26,855</b>	<b>26,792</b>

## 損益計算書

科目	期別	前期 (第40期) 自2000年4月1日 至2001年3月31日	当期 (第41期) 自2001年4月1日 至2002年3月31日
	売上高		84,805
売上原価		69,975	69,129
売上総利益		14,830	14,929
販売費及び一般管理費		13,602	14,082
営業利益		1,227	846
営業外収益		233	302
営業外費用		153	121
経常利益		1,306	1,028
特別利益		9	17
特別損失		126	71
税引前当期純利益		1,188	973
法人税、住民税及び事業税		533	499
法人税等調整額		2	27
当期純利益		653	502

科目	期別	前期 (第40期) 2001年3月31日現在	当期 (第41期) 2002年3月31日現在
	<b>負債の部</b>		
流動負債		18,283	16,741
支払手形及び買掛金		11,234	10,706
短期借入金		3,896	2,328
未払費用		1,016	1,561
未払法人税等		263	250
その他		1,873	1,894
固定負債		3,288	4,017
社債		350	350
長期借入金		2,471	3,133
その他		467	533
<b>負債合計</b>		<b>21,572</b>	<b>20,758</b>
<b>資本の部</b>			
資本金		2,398	2,558
資本準備金		398	661
利益準備金		216	233
その他の剰余金		2,257	2,574
その他有価証券評価差額金		13	7
自己株式		-	0
<b>資本合計</b>		<b>5,283</b>	<b>6,034</b>
<b>負債及び資本合計</b>		<b>26,855</b>	<b>26,792</b>

## 利益処分計算書

科目	前期 (第40期)	当期 (第41期)
当期未処分利益	907	824
利益処分額		
利益準備金	17	-
配当金	161	183
	(1株につき14円) <sup>1</sup>	(1株につき15円) <sup>2</sup>
役員賞与金	7	8
別途積立金	400	350
次期繰越利益	322	282

1:普通配当12円および記念配当2円  
2:普通配当12円および記念配当3円

# 会社概要・株主メモ (2002年6月25日現在)

## 会社概要

商号	株式会社JALUX(ジャルックス) (英文名/JALUX Inc.)
設立	1962年(昭和37年)3月28日
資本金	25億5,855万円
発行済株式総数	12,250,000株
株主数	1,617名(2002年3月31日現在)
社員数	1,280名(連結子会社694名を含む)(2002年3月31日現在)
国内空港支店	千歳,成田,羽田,大阪,福岡など13空港(50店舗)
国内子会社	・JAL/DFSデューティーフリーショップパース(株) (免税品販売) ・(株)JALUXエアポート(空港店舗運営業務)
海外拠点	・JALUX EUROPE LTD.(ロンドン) ・JALUX AMERICAS, INC.(ロサンゼルス) ・JALUX ASIA LTD.(バンコク) ・JALUX ASIA LTD., Hong Kong Branch(香港) ・JALUX HAWAII, INC.(ホノルル) ・JALUX Inc.Shanghai Representative Office(上海) (連結子会社)

## 主要株主 (2002年3月31日現在)

株主名	所有株式数	所有比率
日本航空株式会社	7,190,000株	58.7%
JALUX社員持株会	884,825株	7.2%
東京海上火災保険株式会社	392,500株	3.2%
ニッセイ同和損害保険株式会社	392,500株	3.2%
三井住友海上火災保険株式会社	252,000株	2.1%
あいおい損害保険株式会社	189,000株	1.5%
空港施設株式会社	168,000株	1.4%
安田火災海上保険株式会社	126,000株	1.0%
(合計)	9,594,825株	78.3%

## 役員

代表取締役会長	稲川 広幸
代表取締役社長	横山 善太
常務取締役	加藤 好和
常務取締役	堤 義幸
取締役	青山 和朗
取締役	名井 博明
取締役	坂本 敏男
取締役	塩野谷 住雄
取締役	吉田 亮二
取締役	飯島 雄二
取締役(非)	河野 明男
取締役(非)	麻生 紘二
取締役(非)	進藤 文介
監査役	安念 幸宏
監査役(非)	新町 敏行
監査役(非)	古川 康中

## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	3月31日(定時株主総会・利益配当金)
1単元の株式数	500株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都江東区東砂7丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 03-5683-5111(代表)
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 本店ならびに全国各支店、営業所

公告掲載新聞 日本経済新聞  
(商法特例法第16条第3項に定める貸借対照表および損益計算書に係る情報は、当社ホームページ <http://www.jalux.com> においてご提供いたします。)

## 株主優待

毎年3月31日現在、500株以上所有している株主名簿記載の株主の皆様、次の通り「JAL World Shopping Club」商品割引券を進呈いたします。

500株以上2,000株未満所有の株主	1枚
2,000株以上4,000株未満所有の株主	2枚
4,000株以上6,000株未満所有の株主	3枚
6,000株以上10,000株未満所有の株主	4枚
10,000株以上所有の株主	5枚

[優待内容]

**JALUX**通信販売カタログ

「JAL World Shopping Club」において、1回のお買い物について50%の割引をいたします。なお、商品割引券1枚につき最大割引額は5,000円となります。

(送料・税別、1年間有効)



# JALUX web

<http://www.jalux.com/>

JALUXのホームページをご紹介します。是非ご活用ください。



### News & Topics

最新ニュースやディスクローズ情報をご覧頂けます。



### Shopping

「JALUX Shopping」や、ワイン、フラワーなどのショッピングをお楽しみ頂けます。



### 株主・投資家情報

「決算短信」の閲覧・ダウンロードなどが可能です。

## 株式会社 JALUX

〒140-8638 東京都品川区東品川2-4-11 JALビルディング  
TEL 03-5460-7200(株主チーム)・7233(IRチーム)

[www.jalux.com](http://www.jalux.com)

(東証2部:コード 2729)

**R100**

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

2002年6月発行